

ドラッカー研究所米国株 ファンド（資産成長型）

運用報告書（全体版）

第1期

（決算日 2023年6月19日）

（作成対象期間 2022年12月20日～2023年6月19日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限（設定日：2022年12月20日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ドラッカー研究所米国株マ ザーファンドの受益証券	
	ドラッカー研究所 米国株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株 式および店頭登録株式（上場 予定および店頭登録予定を含 みます。また、DR（預託証 券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売 買益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、信託財産の成長に資することを目的に、 配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案 して分配金額を決定します。ただし、配当等 収益が少額の場合には、分配を行なわないこ とがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国株式の中から、企業の無形資産価値の高さに着目してポートフォリオを構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
1 期末 (2023年 6 月19日)	円 13,318	円 0	% 33.2	% 96.1	% —	百万円 2,530

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

ドロッカー研究所は、ドロッカー研究所データおよびファンド計算のためにドロッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドロッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドロッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所はいかなる保証もしません。

ドロッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドロッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドロッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

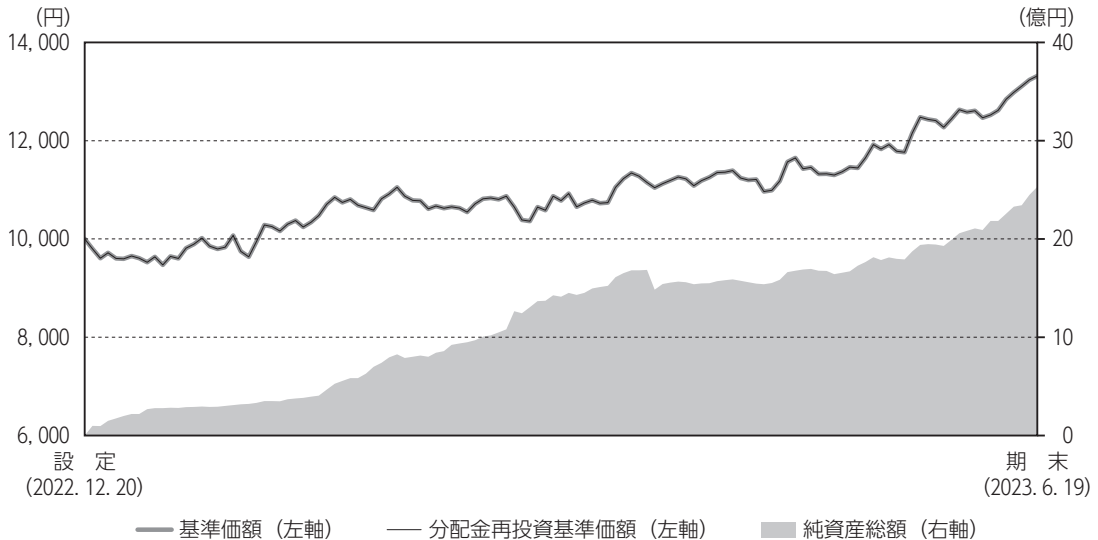
“The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of and has not approved authorized or reviewed the terms or any other aspect of DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE) and is not involved in the provision of, this product or service.”

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行っていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：13,318円（分配金0円）

騰落率：33.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

当作成期は、米国株式市況が堅調に推移したことにより保有銘柄の株価が上昇したことや、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことを受けて、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ドロッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰 落 率 %		
(期首) 2022年12月20日	10,000	—	—	—
12月末	9,635	△ 3.7	95.4	—
2023年 1 月末	10,244	2.4	93.8	—
2 月末	10,655	6.6	89.9	—
3 月末	11,228	12.3	98.7	—
4 月末	11,180	11.8	98.6	—
5 月末	12,409	24.1	97.7	—
(期末) 2023年 6 月19日	13,318	33.2	96.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 12. 20 ~ 2023. 6. 19)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しましたが、2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月には、予想を上回る企業決算の発表が好感された一方、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題が懸念されるなど好悪材料が入り交じり、おおむね横ばいで推移しました。5月以降は、一部の半導体銘柄の決算発表を受けて生成A I（人工知能）市場に対する期待が高まり成長株を中心に上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル円相場は上昇しました。

米ドル円相場は、当作成期首より、日銀が想定外の政策修正を行ったことで日本の長期金利が大きく上昇し、金融緩和政策の転換などが意識されたことで、米ドルは下落（円高）しました。その後は、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、米ドルは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

(2022. 12. 20 ~ 2023. 6. 19)

■当ファンド

当作成期を通じて「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、半導体市況の回復期待を背景に NVIDIA CORP、ADVANCED MICRO DEVICES、INTEL CORP などの関連銘柄がプラスに寄与しました。特に生成 AI（人工知能）需要を追い風に力強い決算を発表した NVIDIA CORP は大きく上昇しました。また、大型テクノロジー銘柄に偏った相場付きであったこともあり、MICROSOFT CORP や APPLE INC なども堅調に推移しプラスに寄与しました。一方で、2022年には相対的に堅調な推移であったヘルスケアや生活必需品セクターが軟調な推移となり、AMGEN INC や KEURIG DR PEPPER INC などがマイナス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年12月20日 ～2023年6月19日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,318

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- （注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」や特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、ドラッカー研究所スコアを活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 12. 20～2023. 6. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	89円	0. 809%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 984円です。
（投 信 会 社）	(48)	(0. 439)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(39)	(0. 356)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0. 023	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(3)	(0. 023)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	4	0. 037	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(4)	(0. 034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	96	0. 870	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

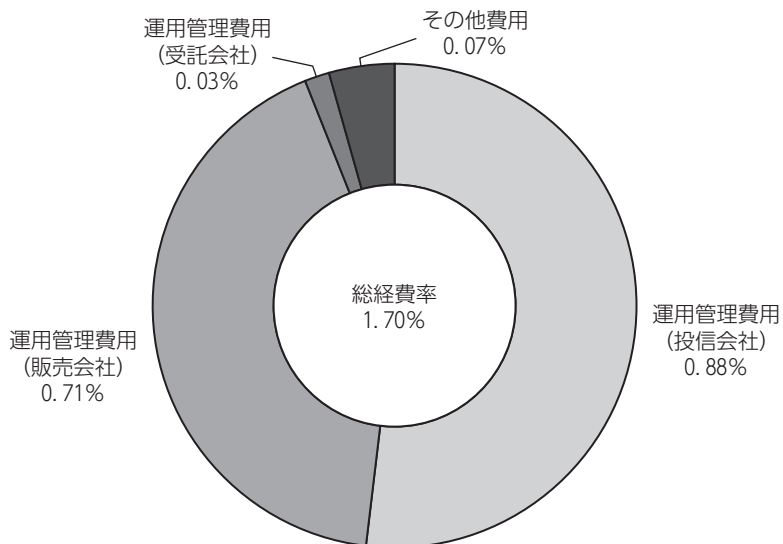
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ドロッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年12月20日から2023年6月19日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ドロッカー研究所 米国株マザーファンド	2,163,146	2,400,914	288,421	328,635

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年12月20日から2023年6月19日まで)

項 目	当 期	
	ドロッカー研究所米国株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	2,814,185千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,091,401千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.57	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

設定時保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	当初設定時における取得とその処分
100	—	30	70	

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ドロッカー研究所米国株 マザーファンド	1,874,725	2,531,441

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年6月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ドロッカー研究所米国株 マザーファンド	2,531,441	98.8
コール・ローン等、その他	30,924	1.2
投資信託財産総額	2,562,365	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝141.97円です。

(注3) ドロッカー研究所米国株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,381,200千円)の投資信託財産総額(2,592,834千円)に対する比率は、91.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年6月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,562,365,667円
コール・ローン等	30,924,407
ドロッカー研究所米国株 マザーファンド（評価額）	2,531,441,260
(B) 負債	31,442,740
未払解約金	21,971,863
未払信託報酬	9,438,973
その他未払費用	31,904
(C) 純資産総額（A－B）	2,530,922,927
元本	1,900,310,325
次期繰越損益金	630,612,602
(D) 受益権総口数	1,900,310,325口
1万口当り基準価額（C/D）	13,318円

* 期首における元本額は100,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は2,508,186,286円、同解約元本額は707,875,961円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,318円です。

■損益の状況

当期 自 2022年12月20日 至 2023年6月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,530円
受取利息	305
支払利息	△ 2,835
(B) 有価証券売買損益	388,554,161
売買益	456,174,271
売買損	△ 67,620,110
(C) 信託報酬等	△ 9,470,877
(D) 当期損益金 (A + B + C)	379,080,754
(E) 追加信託差損益金	251,531,848
(配当等相当額)	(△ 876)
(売買損益相当額)	(251,532,724)
(F) 合計 (D + E)	630,612,602
次期繰越損益金 (F)	630,612,602
追加信託差損益金	251,531,848
(配当等相当額)	(△ 876)
(売買損益相当額)	(251,532,724)
分配準備積立金	379,083,284
繰越損益金	△ 2,530

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	379,083,284
(c) 収益調整金	251,532,724
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	630,616,008
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	630,616,008
(h) 受益権総口数	1,900,310,325口

ドロッカー研究所米国株マザーファンド

運用報告書 第1期 (決算日 2023年6月19日)

(作成対象期間 2022年12月20日～2023年6月19日)

ドロッカー研究所米国株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みません。）
株式組入制限	無制限

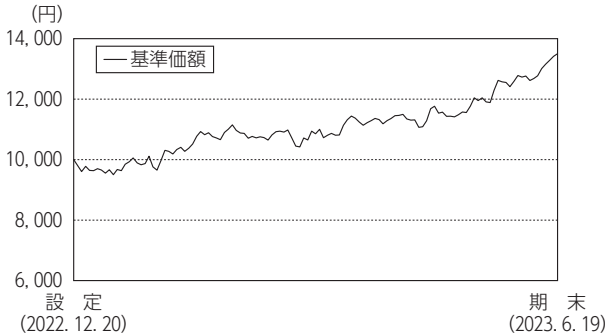
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率
	円	%		
(期首) 2022年12月20日	10,000	—	—	—
12月末	9,665	△ 3.4	95.5	—
2023年1月末	10,274	2.7	93.9	—
2月末	10,753	7.5	89.9	—
3月末	11,320	13.2	99.1	—
4月末	11,283	12.8	98.7	—
5月末	12,550	25.5	97.7	—
(期末) 2023年6月19日	13,503	35.0	96.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：13,503円 騰落率：35.0%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期は、米国株式市況が堅調に推移したことにより保有銘柄の株価が上昇したことや、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことを受けて、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しましたが、2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、FRBによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月には、予想を上回る企業決算の発表が好感された一方、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題が懸念されるなど好悪材料が入り交じり、おおむね横ばいで推移しました。5月以降は、一部の半導体銘柄の決算発表を受けて生成AI（人工知能）市場に対する期待が高まり成長株を中心に上昇し、当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル円相場は上昇しました。

米ドル円相場は、当作成期首より、日銀が想定外の政策修正を行ったことで日本の長期金利が大きく上昇し、金融緩和政策の転換などが意識されたことで、米ドルは下落（円高）しました。その後は、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことや日米金利差の拡大が意識され、米ドルは対円で上昇しました。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドロッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、半導体市況の回復期待を背景に NVIDIA CORP、ADVANCED MICRO DEVICES、INTEL CORP などの関連銘柄がプラスに寄与しました。特に生成AI（人工知能）需要を追い風に力強い決算を発表した NVIDIA CORP は大きく上昇しました。また、大型テクノロジー銘柄に偏った相場付きであったこともあり、MICROSOFT CORP や APPLE INC など堅調に推移しプラスに寄与しました。一方で、2022年には相対的に堅調な推移であったヘルスケアや生活必需品セクターが軟調な推移となり、AMGEN INC や KEURIG DR PEPPER INC などがマイナス要因となりました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」や特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、ドロッカー研究所スコアを活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

ドラッカー研究所米国株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	3円 (3)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	4 (4)
(その他)	0 (0)
合計	6

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2022年12月20日から2023年6月19日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ	1,627.22 (一)	17,656 (一)	259.67	2,979

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2022年12月20日から2023年6月19日まで)

銘柄	当 期			買 付			売 付		
	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価
APPLE INC (アメリカ)	9.951	212,541	21,358	1.383	64,364	46,539			
MICROSOFT CORP (アメリカ)	5.25	195,782	37,291	4.173	51,937	12,446			
NVIDIA CORP (アメリカ)	5.101	169,136	33,157	2.708	41,535	15,338			
PEPSICO INC (アメリカ)	4.551	109,866	24,141	1.89	19,258	10,189			
CISCO SYSTEMS INC (アメリカ)	16.192	106,770	6,594	0.842	18,774	22,298			
ADOBE INC (アメリカ)	1.967	97,786	49,713	0.692	17,465	25,239			
ADVANCED MICRO DEVICES (アメリカ)	7.465	86,923	11,644	0.32	17,095	53,423			
COSTCO WHOLESALE CORP (アメリカ)	1.277	84,828	66,427	0.415	16,304	39,288			
PAYPAL HOLDINGS INC (アメリカ)	8.542	84,477	9,889	0.386	15,551	40,288			
INTEL CORP (アメリカ)	21.717	83,998	3,867	2.223	15,324	6,893			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘柄	株 数	期 末		業 種 等
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ADOBE INC	16.47	815	115,785	情報技術
AUTODESK INC	25.57	545	77,504	情報技術
AUTOMATIC DATA PROCESSING	17.87	395	56,148	資本財・サービス
APPLE INC	91.09	1,684	239,139	情報技術
CISCO SYSTEMS INC	139.69	727	103,264	情報技術

銘柄	株数	期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	千アメリカ・ドル	千円	
COSTCO WHOLESALE CORP	11.09	580	82,445	生活必需品
T-MOBILE US INC	34.54	452	64,203	コミュニケーション・サービス
EXPEDIA GROUP INC	41.7	441	62,676	一般消費財・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	18.76	371	52,694	情報技術
MARRIOTT INTERNATIONAL -CL A	22.08	389	55,283	一般消費財・サービス
NETAPP INC	51.15	380	54,005	情報技術
PEPSICO INC	38.59	717	101,924	生活必需品
QUALCOMM INC	45.35	556	78,985	情報技術
ETSY INC	56.26	532	75,559	一般消費財・サービス
NVIDIA CORP	37.18	1,587	225,347	情報技術
ANALOG DEVICES INC	22.74	428	60,810	情報技術
ADVANCED MICRO DEVICES	47.57	571	81,096	情報技術
AMGEN INC	20.96	481	68,339	ヘルスケア
KEURIG DR PEPPER INC	99.3	319	45,352	生活必需品
INTEL CORP	191.75	697	99,009	情報技術
ILLUMINA INC	23.34	480	68,216	ヘルスケア
MICROSOFT CORP	48.35	1,655	234,983	情報技術
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	61.87	455	64,621	生活必需品
EBAY INC	103.64	467	66,300	一般消費財・サービス
PAYPAL HOLDINGS INC	75.98	504	71,657	金融
BIOGEN INC	14.02	417	59,210	ヘルスケア
INTUIT INC	10.64	484	68,735	情報技術
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	1,367.55 27銘柄	2,433,300 <96.1% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年6月19日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 2,433,300	% 93.8
コール・ローン等、その他	159,533	6.2
投資信託財産総額	2,592,834	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝141.97円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,381,200千円)の投資信託財産総額(2,592,834千円)に対する比率は、91.8%です。

ドロッカー研究所米国株マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年6月19日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	2,739,234,210円
コール・ローン等	156,612,741
株式（評価額）	2,433,300,951
未収入金	147,505,102
未収配当金	1,815,416
(B) 負債	207,744,186
未払金	207,744,186
(C) 純資産総額（A－B）	2,531,490,024
元本	1,874,725,069
次期繰越損益金	656,764,955
(D) 受益権総口数	1,874,725,069口
1万口当り基準価額（C/D）	13,503円

*期首における元本額は99,500,000円、当作成期間中における追加設定元本額は2,063,646,956円、同解約元本額は288,421,887円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ドロッカー研究所米国株ファンド（資産成長型） 1,874,725,069円

*当期末の計算口数当りの純資産額は13,503円です。

■損益の状況

当期 自 2022年12月20日 至 2023年6月19日

項目	当 期
(A) 配当等収益	6,529,902円
受取配当金	6,535,250
受取利息	13
支払利息	△ 5,361
(B) 有価証券売買損益	453,058,999
売買益	472,075,752
売買損	△ 19,016,753
(C) その他費用	△ 378,177
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	459,210,724
(E) 解約差損益金	△ 40,213,164
(F) 追加信託差損益金	237,767,395
(G) 合計（D＋E＋F）	656,764,955
次期繰越損益金（G）	656,764,955

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ドロッカー研究所は、ドロッカー研究所データおよびファンド計算のためにドロッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドロッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドロッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所はいかなる保証もしません。

ドロッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドロッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドロッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

“The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of and has not approved authorized or reviewed the terms or any other aspect of DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE) and is not involved in the provision of, this product or service.”

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行っていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。